

	<p>日本科学者会議 (JSA) 滋賀支部</p> <h1>NEWS LETTER</h1>	<p>2020年3月8日発行 第53号 事務局長 水原 渉 TEL/FAX 0749-47-5169 (共通) go-ma-me@hi3.enjoy.ne.jp</p>
---	--	--

【論考】原発をめぐる情勢 (2019~2020年)

個人会員分会 野口宏

現在稼働中の原発は関西電力、九州電力各4基のみである。だが関電はそれに満足せず40年の寿命を大きく超える老朽原発3基を再稼働させようとしている。

これら3基は2016年に新規規制基準の適合審査合格、老朽原発の特別の安全対策工事を経て2020年6月から、高浜1号機、美浜3号機、高浜2号機の順で再稼働予定である。だが高浜1号機は稼働しても、2021年6月にはテロ対策の特定重大事故等対処施設(特重施設)の5年の設置猶予期限が切れて、稼働できなくなる。特重施設の完成は2.5年遅れるとされ、高浜2号機、美浜3号機もほぼ同様である。これらを乗り越えて再稼働しても、60年期限まで残された稼働期間はわずか10年余しかない(美浜3号機は13年余)。

またこれら3基は2011年から停止しており、長期のブランクを経た再稼働は老朽原発でなくても、不測の事態が生ずるリスクが高い。巨額な安全対策工事費を考えれば、到底採算が合うはずもないが、負担をいくらかでも電気料金に転嫁できる電力会社にはそうした計算は働かない。こうした老朽原発の認可取り消しを求めて福井県を中心とした住民は2016年、名古屋地裁に国を相手とする行政訴訟を起した(関電は国側で補助参加)。原発に反対する声は世論の6割以上だから、老朽原発に至っては9割を超えるであろう。それを考えれば絶対に負けられない裁判である。

主たる争点は、他の原発とも共通する地震、火山対策の不備のほか、老朽原発特有の圧力容器の脆化問題である。原子力規制委員会は試験片の原データを確認

せず、関電の主張を鵜呑みにするという落ち度がある。

また若狭の立地地元をはじめオール福井の住民は、関西圏の住民と連携して、2019年秋、老朽原発うごかすな!のキャンペーン運動を、高浜町を起点に関西一円で展開した。11月には高浜原発から12月8日の関電本店前集会までびわ湖西岸を通る200kmのリレーデモが行われた。さらに2020年5月には大阪で1万人集会在計画されている。滋賀では米原市、大津市、近江八幡市で関連の集会在行われた。私が参加する「原発を考えるびわ湖の会」も名古屋行政訴訟北村栄弁護士団長と老朽原発の危険を説いてきた小岩昌宏京大名誉教授を招いて大津市で講演会(老朽原発の廃炉を求める集い)を開催した。

2019年9月末に、関電の内部告発に端を発した原発マネー不正還流事件が発覚した。地元原発関連企業を率いる元高浜町助役のフィクサーと関電幹部が癒着し、多額の金品が幹部に渡っていた事件である。発覚の端緒は金沢国税局の原発関連企業への税務監査であった。収賄幹部は社長、会長のほか、原子力事業本部の幹部の多数に及んでいた。関電の経営体制とりわけ原子力事業本部のガバナンスは地に墜ちた。こうした組織規律に欠けた関電に危険な原発の運転を委ねる不合理は誰の目にも明らかであった。収賄幹部の刑事告発は全国から3千人以上の原告を集め、12月13日に大阪地検に告発した。

この間、定期検査中の高浜4号機の蒸気発生器の細管に損傷が発見されたが、原因が特定されないまま、2020年1月末には再起動するという無責任ぶりを露呈している。関電は経営立て直しのため元検事総長ら第三者委員会に調査を依頼したが、その調査範囲は大

大きく拡大し、調査報告書は関電が期待した 2019 年内どころか、2020 年 3 月以降と見られている。報告書発表後、関電は大幅な幹部の入れ替えなど組織改革を余儀なくされるであろう。こうした関電経営の混迷は、原発を止めない限り危険極まりないが、関電の信用失墜は脱原発市民にとっては追い風とも言える。さらに 2020 年 1 月には広島高裁が伊方 3 号機の運転差し止めの仮処分を決定し、同機は本訴判決まで稼働できなくなった。差し止め裁判の勝利は 3 年ぶりの快挙であり、追い風はさらに強くなっている。

2020 年は関電に老朽原発を断念させる正念場の年であり、追い風に乗って老朽原発反対の世論を飛躍的に大きく広げることがカギになるだろう。

【報告】「野党連合で安倍政権を倒そう！ 市民と野党のつどい」 in 米原

去る 2 月 1 日に米原市公民館大ホールで、「滋賀 2 区の会」と「市民の会しが」の共催で、標記の集会が開催された。2 名の支部会員（1 名は 2 区の会の代表世話人）が参加した。会場はほぼ満席で 480 名の参加だと主催者の発表があった。

目的は、やがて行われるだろう衆議院選挙に向けての意思統一と、活動の新たな立ち上げを図っていくことであった。「滋賀 2 区の会」では、独自の市民団体として野党統一候補者と共有できる政策づくりを目指し、そのために市民から要望を出してもらうことも重視し、当集会はその足掛かりとなるものとなった。

内容は、まず、国会での「桜を見る会」の私物化問題の追及で先頭に立って活躍している田村智子氏による、氏の奮闘や、そこでの立憲野党の協力の様子などについての講演と、野党統一で参院選を勝利した嘉田由紀子議員のあいさつと活動報告があった。そして県内の国政 4 野党の代表からの決意表明、市民からの国政要望などの発言が行われた。これらを受けて、私たちの意思固めと衆院選決意を確認した。

田村議員の話は、昨年 11 月 8 日の田村質問の後、

すぐに野党間で「桜を見る会」問題追及チームが立ち上げられ、1 月からの通常国会までの「終わったことにしない」追及活動、政権経験党からの資料提供という「野党の合同追及本部のスゴいところ」の紹介、ワンチームで頑張っていることなど、報道だけでは伝わってこない迫力ある内容で、非常に興味深かった。

滋賀支部も大学の研究、教育に関して政策要望を検討し、伝えていくのも大切と思う。

（個人会員分会 水原 渉）

【報告】 第 6 回幹事会

2020. 02. 16 / 1. 情勢 / 2. 日本科学者会議の全国、近畿地区の活動：2019 年度日本科学者会議近畿地区シンポジウム「大学自治の危機と、その克服に向けて」（主催：近畿地区会議、3. 29 開催予定）は新型コロナウイルス予防のため延期（事後情報）；2019 年度第 3 回近畿地区サポーター会議（2. 9；支部から参加者なし）。支部のサポーター体制の強化について協議 / 3. 支部活動：会員・会費納入動向；前年度最終会計報告の確認；支部ニュース予定；会員アンケートの回収；新規会員 4 名の承認；次の支部大会と講演学習会（5. 23 か 5. 24 で候補者に依頼してみる）；第 11 回彦根ピースフェスタの後援名義参加承認 / 4. 各分会の活動計画：・県大：特になし・滋賀大：特になし、・個人会員分会：『日本の科学者』を読む会（02. 17；草津まちセン）の案内（事後情報：参加者 3 名で実施） / 5. 支部関係団体、組織での活動：1. 15 開催の「脱原発 2020 びわこ集会第 3 回実行委員会」の報告：畑会員）。「原水爆禁止 2020 年世界大会・科学者集会 in 福井」（8. 2）の実行委員として畑会員選出 / 6. 会員拡大：1 名に働きかけ / 7. 「安倍 9 条改憲 NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」の取り組みの承認 / 8. その他 / 次回幹事会：4 月 26 日、9:30 から正午、「コミュニティセンター やす」会議室

（事務局長 水原 渉）

【お知らせ：3 月 29 日シンポジウムについて】

新型コロナウイルス感染対策のため、「大学自治の危機と、その克服に向けて」は中止になりました。「これからの大学入試のあり方を考える」は実施の予定です。